

横浜災害ボランティアネットワーク会議

平成 29 年度 第 6 回運営委員会について報告します。

日 時	平成 29 年 11 月 24 日(金)18:30～20:30	
会 場	横浜市健康福祉総合センター 9 階 小会議室 901	
参加者	鶴見区災害ボランティアネットワーク	河西(運営委員長)
	金沢区災害ボランティアネットワーク	外山・深浦
	神奈川県生活協同組合連合会	丸山
	南区災害救援ボランティアネットワーク	高松・山片
	港南区災害ボランティアネットワーク	井出
	保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク	川名
	磯子区災害ボランティアネットワーク	小原
	港北区災害ボランティア連絡会	宇田川
	とつか災害救援活動ネットワーク	宮川
	泉区災害ボランティア連絡会	乾
	ボーイスカウト横浜市連合会	宮崎
	事務局:横浜市ボランティアセンター	吉寄、別田

18:00～18:30 定例会

1 支援者向けコーディネートスキルアップ研修について

資料 1、資料 2 に基づき、事務局から説明。

事業報告書をもとに、振り返りを行った。

(意見)

- ・周知先を増やしたにも関わらず、参加者人数が昨年とほぼ変わらなかった。広報の仕方に問題があるか。
- ・災ボラの会員ももっと多く参加があっても良かったのではないか。
- ・地区に対して全体の PR 方法を考えていった方が良いのでは。

(次回に向けて)

- ・PR の仕方を検討していく。
- ・PR にあたり、講演の概要をチラシに記載したら良いのでは。タイトルだけでは内容が伝わりきらない。
- ・参加の対象者がどういう人か分かると、より該当の方は参加しやすいのでは。

2 今年の事業の進捗について

資料 3 に基づき、事務局から事業の進捗について説明。取りかかれていないものについて共有を行った。

(市域団体向けのヒアリング実施について)

- ・以前は市域団体向けにアンケートを実施した。アンケートだけでは項目も限られてしまうため、一同に発言できる場があると良い。
- ・市域団体は横浜市災害ボランティア支援センターの運営を行うかと思うが、団体は横浜市災害ボランティア支援センターが何をするとところなのかイメージがついていないかもしれな

い。

- ・市域団体に、当ネットワークに加入した経緯も聞けたら良い。
→団体によっては、お付き合いで加入してくださっているところもあるのでは。団体によって関わり方は違うのでは。
- ・災害時に団体がどう関わり合うか。災害時に備えてどのようなことを日頃から行っているか、出来ることは何なのか出し合うのが良いのでは。
- ・横浜市災害ボランティア支援センターとして、市域団体にどのような関わりをもってほしいかを明確にした方が良いのではないか。

【報告事項】

1 ブロック別連絡会開催状況

Dブロック：11/26 開催予定

2 その他

- ・各委員より

(ガールスカウト横浜市連絡協議会)

- ・金沢区において、ボーイスカウトと一緒に帰宅困難者の訓練を実施予定。

(神奈川県生活協同組合連動回)

- ・4月にフードバンクかながわを開始予定。それに伴い3月に設立記念フォーラムを開催予定。フードバンクをきっかけに、地域の支えあいも進めていってほしい。

(鶴見区災害ボランティアネットワーク)

- ・1/18 7時から鶴見区役所にて災害ボランティアセンターシミュレーションを実施。地域防災拠点30か所も参加予定。現在参加者は60名ほど。

(港南区災害ボランティアネットワーク)

- ・地域防災拠点への街歩きを実施していたが、行っていないところに再度行ってみたいことを行う。

(金沢区災害ボランティアネットワーク)

- ・内部向けのコーディネータースキルアップ研修を12月に2回開催予定。

(港北区災害ボランティア連絡会)

- ・区の地域防災拠点の会議に災害ボランティアセンターの説明に行き、PR活動ができた。各区の地域防災拠点との関わり合いについて情報共有したい。

(とつか災害救援活動ネットワーク)

- ・区民まつりに災ボラとして出店していたが、今年はなしに。災ボラのメンバーも様々な顔をもつ方たちなので、災ボラだけ特化した周知の場になかなかならない。みんな出店はどのように行っているか聞きたい。
- ・区からの誘いで12/9 減災フェアに出店。そのほか地域防災拠点や町内会からも災ボラにつ

いて説明が求められているが、メンバーで動ける方が少なく全て対応することが難しい状態。

18:30～20:30 2/10 災害ボランティアセンター図上シミュレーション訓練と

市・区災害ボランティアセンター設置訓練同時開催の検討

NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワーク 齋藤氏、市原氏の講師のもと、災害図上訓練 (DIG) のトレーニングとして DIT を模擬で体験。資料別添パワーポイント資料

- ・数年災害図上訓練を実施してきたが、今回は、災ボラの皆さんが地域住民に対して災害図上訓練を指導できることを目的に実施。
- ・当日は金沢区に焦点を充てて DIG を実施する。
- ・訓練の事前準備として、各区の地図で区境界線、鉄道、幹線道路、等高線の線引きの作業を実施してもらう。2/10 災害ボランティアセンター図上シミュレーション訓練では、金沢区の地図の区境界線、鉄道、幹線道路、等高線の線引きがしてあるものを使用し、DIG を講師とともにグループごとに行う。本訓練終了後、各区において事前に途中まで作業した各区の地図について、当日講師から教わった内容について DIG を続けていく。

(意見)

- ・当日金沢区の地図を使用して DIG を行うのであれば、事前に各区の地図の線引きは行う必要がないのでは。
- ・参加者は自区について訓練をしたいのでは。

次回運営委員会日程：平成 29 年 12 月 6 日 (水) 18 時 00 分～